

るるる



今号の表紙

寿幸苑4階

PICK UP

- 1 日常とイベント - 寿幸苑4階フロア -
- 2 みなさんの「ふだん」、教えてください

HELLO! NEW STAFF
鯉谷さんのひとりごと

寿幸苑 4階フロア

日常とイベント。



寿幸苑一のレク数を誇る4階フロア。日々のケアの傍ら、どのような思いで企画し、開催しているのか。日常と「レク論」について聞いてみました。

4階で目を引くのは、イベントの告知ポスターや思い出の写真たち。たくさんの催し物が行われている印象ですが、「大切な日常のケアや生活があって、レクはその一部。日々の生活を大切にして、入居者さんに寄り添っていきたい」とレクを企画する久津名さんは言います。夏に本物風の竹を使った流しうめんをしたり、敬老会には上質なすき焼きをしたりと、こだわりある食レクも開催。「入居者さんに手作りの美味しい物を食べてほしい。楽しい思い出を作ってほしいと思うから頑張ったりする」(料理上手な木下さん)。また、4階の1つの特徴は20代から60代まで幅広い世代の職員がバランスよくいること。そのため年上の職員が後輩をフォローし、新しいことにチャレンジしやすい風土があるようです。「何か試したいことがあれば、その人の考えを汲んでみようかとなる。



廊下は写真と思い出の品がたくさん

失敗しても見直して、良いものを残していくって」(勤続10年超の高山さん)。過去には「粥食の人の食が進まない時に、見守りをしつつ小さなおにぎりをお出ししたら食べられるようになった」という事例も。21歳ながらレクで活躍する北村さんも「職員間のコミュニケーションが良い感じにあって、質問しやすい環境」と言います。人と人、時には膝を突き合わせて話し合い、より良くするために努力している様子が見られました。



ケアマネージャー
藤田さん

職員から「こうはできないか」と声が上がれば、話し合い、ケアプラン等に反映しています。入居者さんはどこか我慢の上で生活しているはず。より心地良く暮らせるように日々向き合っていきたいです。

寿幸苑 4階

特別養護老人ホーム

住所：大阪市生野区林寺4-13-14-4F／従業員数：14名

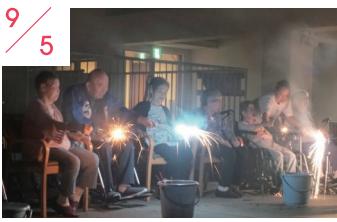


日々いろいろなことを記録

るるる日誌 -日々のできごと-



8/30 楽楽室で開かれたカラオケ大会。入居者さんによる歌のほか、ボランティアさんによる楽器演奏、久津名CW・林CW・北村CWによるダンス披露など盛り沢山の会でした。



恒例になっている屋上での花火大会を開催。手持ち花火・打ち上げ花火・ナイアガラの滝など、多彩な花火を入居者さんや職員のお子さん、みんなで楽しみました。



「レクの応援団長」と呼ばれる入居者が、ご自身の誕生日会をセルフプロデュース! 入場曲、自分が歌う曲、仲間が歌う曲など、いろいろ演出してくれました。

みなさんの「ふだん」、教えてください

休憩時間、仕事終わり、休みの日…どんなふうに過ごし、何が好きで、どんなことを楽しんでいるのか。疲れを癒やし、仕事への活力につながっているかもしれない（？）、オフの時間の過ごし方をうかがいました。

場所：寿幸苑2階～6階
聞いた人：ケアワーカーのみなさん

いつも同僚や働く仲間を先導してくれる6階の仲條ももこさん。フィリピンから実習生が来日する際には、彼女たちの家の準備や家具の組み立て等でも活躍。なんでも器用にこなせるイメージですが「仕事終わりや休みの日は野球観戦に行ったり、ホットヨガに行ったり、食べに出かけたりしています」と、オフの時間もアクティブに楽しんでいるようです。寿幸苑では家庭科部に所属し、「夜勤の時はお弁当を作つて持つてくる」という家庭的な一面も。



穏やかな人当たりで、まわりを優しくフォローしてくれる佐々木さん。私生活では小さなお子さんがいるため、「休みの日は子どもと遊んだり、家事をしたり」と、良いお父さんとして活躍されているようです。



4階
佐々木貴康さん



3階
宇井聖也さん

優しい雰囲気で、他の職員さんから可愛がられやすい印象の宇井さん。音楽は「星野源さんやSEKAI NO OWARIが好きで休憩時間や仕事終わり、休みの日に聴いています」とのこと。テレビは連ドラや週末の映画をチェックするそうです。



落ち着いていて、一步引いてまわりを見ている印象がある5階の赤尾敦さん。「むかしから走るのが好きで、休みの日は北海道や京都など、他府県で開催されるフルマラソンに参加したりしています」と、アウトドアな休日を過ごしているそう。大阪府外へ出かけると仕事をすることを忘れるので、良い息抜きになりリフレッシュできるそうです。

いつも明るくまわりを気遣ってくれる吉田さん。リフレッシュできるのは「子どもと過ごす時間。出かけたり、家でみんなで遊んだり。1人の時間も大事だけど、いろんな人との時間も、もっと大切です」と話してくれました。



2階
吉田恵子さん

もっともっと 聞きました!

1 オフの時間、どんなふうにリフレッシュしていますか？

映画を観たり、漫画を読んだり、CW同士でおしゃべりしたり。資格試験が近い時などは勉強も／2階 谷川真美さん

日勤・遅出の時は、休憩時間は他のフロアの人と話してリフレッシュします。仕事終わりは家に直帰して家族と話すか、翌日が休みなら飲みに行きます／5階 若林咲奈さん

難波にあるベリーグッドマン関係の人のお店で、店員さんや友達とご飯を食べながら色々な話をする！／6階 村田あすかさん

関ジャニ∞のLIVE DVDを見たり、YouTubeを見たりしています／6階 西川彩音さん

2 オフの時間に楽しむ、お気に入りのメニューはありますか？

我孫子にある「閃」というお店の油そば！／2階 松本匡史さん
セブンイレブンの完熟バナミルクスムージー。バナナ嫌いだけど、これなら飲める！／2階 中西鈴奈さん

ファミマのパスタ。種類も豊富で、定期的に新商品が追加されるので飽きないです！／3階 棚町美鈴さん

糀の手作り甘酒を豆乳で割って欠かさず飲んでいます！／4階 藤田治子さん

プリン（プチッソするもの）。甘い物が大好きだから、仕事を頑張ったごほうび／5階 土橋礼奈さん

TOPICS

各事業所で、ときには外にとびだして、最近行なわれた さまざまな活動を紹介します。

1 地域の夏祭りに出店しました

日時：8月3日（土）・4日（日） 場所：林寺小学校・生野南公園

地域の人との交流活動に励むチーム Re-lo (Re-local)。昨年に続き、寿幸苑近くで開催されている夏祭りに参加しました。暑い最中の会場設営・運営・撤収を経て、以前よりも関わる人々との絆が深まったようです。



2 寿幸苑ケアカレッジ開校中！

日時：7月18日（木）～ 場所：寿幸苑ケアカレッジ

初任者研修は7月中旬から、実務者研修は8月下旬から開始しています。寿幸苑・ライフェル駒川・サボテンの花・外部からと、法人内外から集まつた受講生たち。スキルアップや知識の習得のため、みんな頑張っています。



3 黒板アート、秋仕様に

日時：9月～ 場所：ライフェル駒川 コミュニティースペース「イマ」

夜勤の合間に、ひとり黒板に向き合うケアワーカーの西さん。季節のうつろいに合わせて描き替えられる映えるアートは、入居者さん・来館者さん・職員たちの楽しみの種。かわいいイラストでコミュニティースペースをより華やかにしてくれています。



4 敬老会を開催

日時：9月15日（日）・16日（月） 場所：サボテンの花

「敬老の日」がある9月は、各施設・フロアでたくさん敬老祝賀会が開かれました。グループホーム サボテンの花 3階では、入居者さま一人ひとりにプレゼントが贈られたほか、特別なおやつを食べ、童謡を歌ってお祝いしました。



Hello!

NEW
STAFF



棚町 美鈴さん
(寿幸苑)



川崎 美優さん
(寿幸苑)



山本 広子さん
(寿幸苑)



十河 薫さん
(寿幸苑)



杉中 圭介さん
(サボテンの花)



坪上 千章さん
(サボテンの花)

AND MORE!

渡部 裕子さん
(ライフェル駒川)

坂本 梨沙さん
(サボテンの花)

高木 彩さん
(寿幸苑)



2つの言葉

ひとりごと

No.002

前回は「です・ます」調で書いたけど、それはやめてみようと思う。理由はなんとなく、そっちの方が「ひとりごと」らしいかなと思うので。僕は数えてみると年間180回ぐらいスタバに行っていることがわかった。電源とWi-Fiがあって、108円でお替りができる、なんかオシャレな人になった気になれるし、僕にとってはそんな素敵なかん所。スタバに入るとどこの店舗でも店員さんから「いらっしゃいませ」ではなく、「こんにちは!」と言われる。お客様によっては「客に向かってなんだその口の利き方は!」と怒る人も出て

きそうなものだが、そんな人は一人も見たことない。常連の僕が見たことないのだから本当に居ないんだと思う。実際、「こんにちは!」という言葉には、嫌な気は全くせず、むしろなぜか心地良い響きがある。同じようなことを他の場面でも感じことがある。たとえば、「ありがとうございます」よりも「ありがとう」。「標準語」よりも「方言」の方が、なんとなく心地良い。それは、そこにはほんのちょっとだけ「気持ち」が入っている気がするからかもしれない。そんなこともあります。ここでは、「です・ます」調はいったん中止してみようと思う。

